



自分たちの暮らしを想像することができる。  
家族が一つの空間でくつろげることが喜び。



# Come Home Story

ご入居後の  
お宅訪問  
No.016  
カムホームストーリー  
佐川町・Kさま邸  
竣工:2010年3月  
設計担当:福井 美絵



## 「自然素材の雰囲気を見て、すぐに気に入りました」

お引渡しから4年2ヶ月が経過したKさまのお住まい。安心して暮らすことのできるご実家のすぐとなりで家を建てました。ある日、目にとまったタイセイホームの記事広告k+。当時、家を建てようとしていたわけではなく、そこに写った自然素材の家の雰囲気に惹かれ、見学会に足を運んだというKさま。それまでにもいろんなモデルハウスを見てきました。「豪邸のような家ではなく、自分たちの暮らしを想像することができるタイセイホームの家が、とても印象強かった」と旦那さま。木の雰囲気をすぐに気に入りましたと、子どもさんを転校させたくなかったという思いからKさまの家づくりがはじまりました。

## 「家族が一つの空間でくつろげます」

普段はリビングダイニングで家族が過ごすことが多いというKさま。子どもたちは床で書き物やゲームをして遊び、旦那さまはソファでくつろぎ、奥さまはキッチンに立って家事をするのが日常風景。完成見学会で見た家の良いところを取り入れたというキッチンまわりは、「水がはねるからタイルにして良かった」と奥さま。キッチンカウンター上部のRにした壁も友人たちがオシャレだと褒めてくれると、1番のお気に入りだと話します。キッチンからはお家全体を見渡すこともでき、安心設計です。「LDKの開放感がすごく気に入ってます」という旦那さま。できるだけ壁をつくらず、和室の扉も引き戸にすることでオープンにすることができる仕組み。家族が一つの空間でくつろげることが喜びを感じています。

## 「自分たちだけの空間ができたことで気兼ねなく過ごせる」

唯一、洗面と洗濯機間に少し隙間ができてしまったために物が落ちてしまうのと、ほこりが溜まりやすいと話す奥さま。もう少し洗面台の天板を伸ばすかなにかしておけば良かったと振り返ります。オーダーした家具の中でも、長めに大きくつくってもらったというテレビ台がお気に入りだと旦那さま。細々したものはすっきりと収納できるように、チェッカーガラスをはめ込んだ扉をつくりつけました。となりで暮らす両親もいっしょに食事をすることが多いからと、ダイニングテーブルも大きめのサイズをオーダー。ピッタリサイズで使いやすいと家族団らんになっています。マイホームを建ててからというもの、「広い庭ができたことで子どもたちも元気に遊べるようになって危なくないから安心です」と奥さま。ここで毎年恒例になったというバーベキューで近所の人たちも招き、たのしく交流を深めていると言います。お家での家族行事も増え、なにより家族と過ごす時間を大切にしているKさまご家族です。